

校長室だより



丹波市立大路小学校

校長通信

令和6年9月号



大路小HP

令和6年度 学校教育目標

ふるさと大路を愛し 夢を求めて挑戦し続ける 大路っ子プライドの育成
～ ふるさと大路の輝く太陽になろう ～



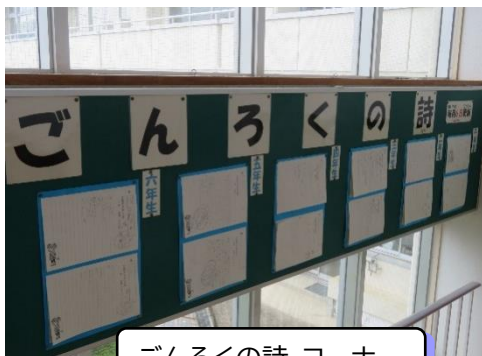
地域とともにある学校

～ ふるさと大路 ～

9月2日（月）より第2学期が始まりました。運動会・音楽会・オープンスクール・マラソン記録会等、行事が多い2学期です。ふるさと大路の輝く太陽である子ども達が、安全に登下校できるよう、見守りボランティア等お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

ごんろく^{うた}の詩

～ 大路の偉人 深尾須磨子（詩人）の世界 ～



ごんろくの詩 コーナー

子ども達は毎朝8:10～8:25 チャレンジタイムに取り組んでいます。月曜は国語（漢字等）、水曜は読書、木曜は算数（計算等）、金曜は詩（書く・読む）です。「詩」に関しては、日々の生活で感じたことや思いを表現し、心豊かに成長していくことを目指しています。校舎2階へ上がる階段の「ごんろくの詩」コーナーには、全学年の詩を掲示し、毎月6日（ごんろくの日）に更新しています。

大路の偉人「深尾須磨子」は、明治21年（1888）春日町下三井庄に生まれました。経済的に恵まれなかった子ども時代を過ごし、若くして夫を失う悲しみを背負いましたが、有名な歌人「与謝野晶子」と知り合ったのをきっかけに、作家の道を歩みだしました。子ども時代は、勉強がよくでき、しっかりもので、山や川でよく遊んだそうです。



ふるさと 詩碑

山があれば 川がある ふるさとよ 山にきつね 川にごんろく まだ居るか ふるさとよ

これは、須磨子が74歳のときに作った詩です。ふるさとから遠く離れて暮らす須磨子は、晩年になっても、ふるさとの自然をなつかしみました。昭和49年、85歳で亡くなりますが、命が燃えつきるまで、人間愛に満ちた詩を発表したり、平和運動や女性運動につくすなど、行動する詩人として活躍しました。（『丹波人物伝』より）

文責 廣瀬 ゆかり